

学校名	熊谷市立桜木小学校
所在地	熊谷市桜木町2丁目3番地1
電話	048-523-1713

1 本校の概要

昨年度開校50周年を迎えた本校は、児童数170名、学級数7学級（特別支援学級1）の小規模校である。

学校教育目標「進んで学ぶ子、心の美しい子、強くたくましい子」、「元気・やる気を基盤とし、確かな学力の向上を目指す学校」を目指して、日々の教育活動に取り組んでいる。

熊谷駅が近くにあり、学区内には市立図書館や市民体育館などの公共施設もある。

多くの児童が市立図書館を利用し、進んで読書に親しむ様子が見られる。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・学校図書館等の環境整備の工夫
- ・読書に親しむ態度や読書習慣に関わる取組

(2) 実践の概要

ア 図書室の環境整備

図書室の入り口には、季節や年中行事にあわせておすすめの本を紹介するコーナーがある。



中に入ると、新聞を自由に閲覧できるコーナーや、畳の上でゆったりと本を読むことのできるスペースもある。



イ 読書推進月間の設定

読書推進月間として、毎年、秋に1か月程度の期間を設けている。



図書委員会による図書集会や、ボランティアによる読み聞かせがあり、児童が本に関心をもち、読書活動により一層親しめる取組をしている。

ウ 全学年による毎日読書（家庭学習）の取組

音読、自主学習のチェック欄に加え、毎日の読書記録欄もある。毎日、家庭で読書をする習慣を身に付けさせるとともに、記録をすることで児童の意欲を高めることにもつながる。



エ ～卒業までに読みたい50選～ の設定

本校の職員が選んだ50冊の本を「卒業までに読みたい50選」として設定し、図書室にコーナーを設置している。児童は、職員が選んだ幅広いジャンルの本に親しむことで、豊かな人間性を身に付けていくことができると考えている。



オ 図書館だよりの配布

夏季休業日前に、図書館支援員がおすすめする本を紹介している。



カ 市立図書館の活用

本校に隣接する市立図書館には、毎年2年生が見学へ行く。そこで個人カードの作成をし、積極的に利用をしている。



3 成果と課題

(1) 成果

本校の児童は、読書環境に恵まれていることもあり自ら選んだ本を、じっくり読むことのできる児童が多い。週に1度の図書室の本の貸し出しは、全校児童が楽しみにしていて、利用率はほぼ100%である。引き続き、児童に整った読書環境が与えられるように努めていく。

(2) 課題

市立図書館との関わりを、さらに増やしていきたい。学習活動の見直しをしていきたい。

(3) おわりに

地域や家庭と連携し、児童の読書活動の推進に一層力を入れていきたい。